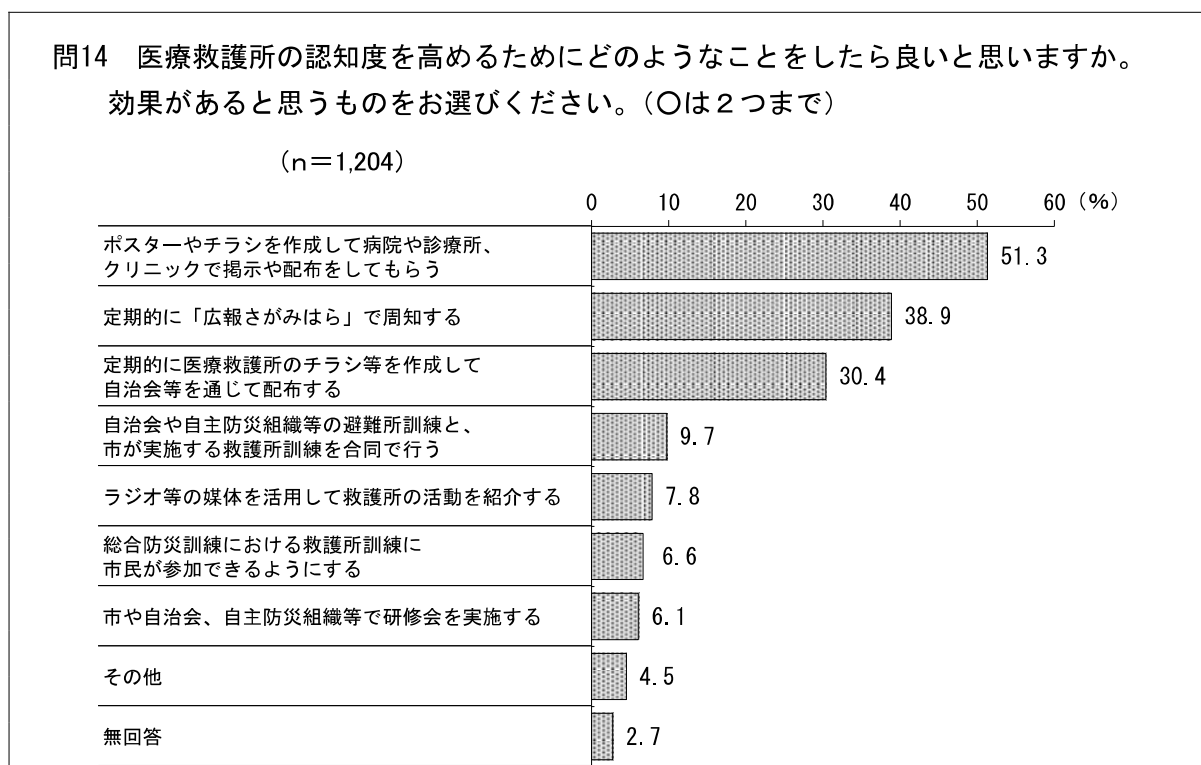


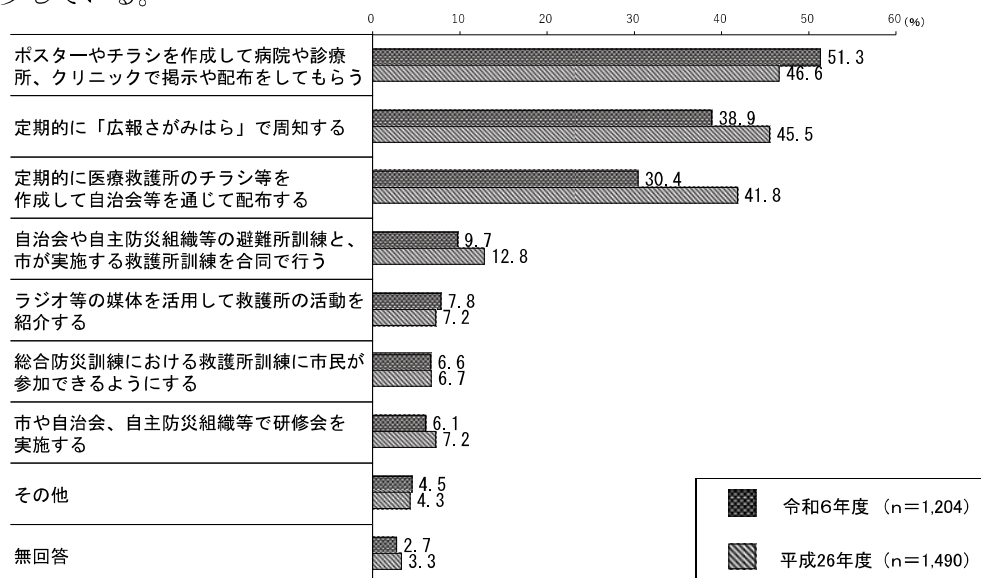
(3) 医療救護所の認知度を高める手段について



医療救護所の認知度を高めるためにはどのようなことをしたら良いかたずねたところ、「ポスターやチラシを作成して病院や診療所、クリニックで掲示や配布をしてもらう」(51.3%)は、5割を超えて最も高く、次いで、「定期的に「広報さがみはら」で周知する」(38.9%)、「定期的に医療救護所のチラシ等を作成して自治会を通じて配布する」(30.4%)と続いている。

<経年比較>

過去の調査結果と比較すると、「ポスターやチラシを作成して病院や診療所、クリニックで掲示や配布をもらう」は平成26年度より4.7ポイント増加している。「定期的に「広報さがみはら」で周知する」、「定期的に医療救護所のチラシ等を作成して自治会等を通じて配布する」は平成26年度に比べ減少している。



<性別・性／年齢別・区別結果>

性別でみると「ポスターやチラシを作成して病院や診療所、クリニックで掲示や配布をしてもらおう」は女性が男性より12.1ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると「定期的に「広報さがみはら」で周知する」は男性70歳以上が最も高く、5割半ばとなっている。

区別でみると「自治会や自主防災組織等の避難所訓練と、市が実施する救護所訓練を合同で行う」は中央区で1割に満たない。

